

関西支部 第26回技術研修会

「ねじ作りにおける先端技術動向」

日 時：平成25年11月2日(土) 10:15～16:20

会 場：大阪大学工学部 R1 棟 311 室 (R1-311) [〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1 TEL(06)-6877-5111(代)]

交 通：阪急電鉄千里線：北千里駅(終点)下車 東へ徒歩約15分

大阪モノレール：阪大病院前駅下車 西へ徒歩約15分

主 催：日本塑性加工学会関西支部

協 賛：型技術協会、軽金属学会、精密工学会、日本金型工業会、日本機械学会、日本金属学会、日本金属プレス工業協会、日本材料学会関西支部、日本鍛造協会、日本鉄鋼協会、日本トライボロジー学会、粉体粉末冶金協会、日本ねじ工業協会、ねじの世界社

趣 旨：塑性加工製品の代表例で、用途も多岐に渡る“ねじ”を中心として、素材・金型・装置・潤滑のそれぞれの分野における最新開発事例やCAEを活用した工程改善事例を紹介し、それらを活用した今後の展開について議論する。

プログラム：開会の挨拶(10:15～10:20) 日本塑性加工学会関西支部長 岡本 隆彦 君

講演会(10:20～15:50) 司会 (株)神戸製鋼所 長田 卓 君

技術相談と名刺交換会(15:50～16:20)

時 間	内 容	講 師
10:20～11:00	最新のねじ・ボルト用開発材料の紹介 ：ねじ・ボルト用材料の選定と製造方法を解説するとともに、海外にない、グローバル展開を可能とする最新の開発材を紹介する。	大阪精工(株) 岩本 真一君
11:00～11:40	冷間塑性加工用の工具鋼および表面処理の動向 ：冷間鍛造やねじ転造用の工具鋼について、その考え方、開発推移について述べ合わせて表面処理についても紹介する。	日立金属(株) 熊谷 敦君
11:40～12:20	冷間鍛造用一液型潤滑剤について ：冷間鍛造に用いられている一液型潤滑剤の特徴、性能および使用上の注意点を化成被膜と比較して述べる。またねじ加工分野にも使用可能な商品の紹介も行う	大同化学工業(株) 黒田 将文君
12:20～13:50	昼 食 ・ 休 憩	
13:50～14:30	ホットホーマーおよびボールヘッダーの開発 ：航空機部品やチタンなどの難加工材料を高周波で加熱し、サーモグラフィで温度管理しながら加工するホットホーマー、および、高速稼働・低騒音・省エネを実現したボールヘッダーNB42の開発事例を紹介する。	(株)中島田鉄工所 酒井 康行君 山田 博文君 案納 隆君
14:30～15:10	平ダイス式転造盤による特殊ねじ加工事例 ：一般的に雄ねじの量産に使用される平ダイス式転造盤を用い、付加価値を持った特殊ねじならびに緩み止め効果の得られるボルトに関し、その工法等を含めた加工事例について具体例をもとに紹介する。	(株)三明製作所 谷口 正樹君
15:10～15:50	冷間鍛造および転造工程の設計におけるCAEの活用事例紹介 ：冷間鍛造工程およびねじ転造工程における成形欠陥の予測や金型寿命の向上など、問題解決と工程改善に向けたCAEの活用の現状について事例紹介を中心に解説する。	(株)ヤマナカゴーキン 金 秀英君
15:50～16:20	技術相談 Q&A・名刺交換会：講師への技術相談や名刺交換の機会を設けます。	

定 員：170名(定員になり次第締切) 参加費：会員8,000円、一般16,000円

申込方法：「関西支部第26回技術研修会参加申込」と題記し、①氏名、②会員資格(正・賛助・学生・協賛学協会、一般)、③勤務先(所属部課名・役職名)、④通信先(郵便番号・住所・電話番号・FAX番号・E-mail)を明記の上、E-mailまたはFAXにて(なるべくE-mailでお願いします)下記にお申し込みください。

※本研修会には塑性加工連合講演会への参加登録が無くても参加いただけます。

※参加費は参加証、請求書を受領後に開催3日前までに指定の振込先へご送金下さい。

※申込後1週間経っても受付の連絡がない場合は事務局までお問い合わせください。

申 込 先：日本塑性加工学会 関西支部事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1 大阪大学大学院工学研究科 マテリアル生産科学専攻 宇都宮研究室内

電 話：090-9280-0383 FAX：06-7635-5475 E-mail：kansai@jstp.or.jp

申込締切：平成25年10月18日(金)